

第1学年A組 生活科学習指導案

授業者 福田 佳子
研究協力者 中野 良樹

1 単元名 ぞだてよう さかせよう アサガオだいさくせん

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

本単元と並行して行っている単元「こんにちは ふぞくしょうがっこう」の学校探検で子どもたちは、花壇の花や校庭の桜や樹木、草花を見て回った。子どもたちからは、「きれいだな。」という声が聞かれ、気に入った花をスケッチしている姿が見られた。学校行事では、全校の取組である「花いっぱい活動」で、プランターにベゴニアの花を植える活動を経験した。活動後のふり返しには、「植えるのが楽しかった。」「またやりたい。」という感想が多く見られ、この活動をきっかけに栽培活動への興味・関心が高まってきている。子どもたちのこれまでの栽培の経験や、植物に対する興味・関心については、個人差が大きい。家庭で花や野菜などを育てたことのある子どもがいる一方で、栽培の経験が全くなく、身近な植物の名前をほとんど知らない子どももいる。アサガオについては、2年生から種をプレゼントされたことで興味が高まってきている。

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)を受けて構成した単元である。本単元で子どもたちは、アサガオを一人一鉢栽培する。アサガオは丈夫で、あまり細かい手入れを必要としないため、植物の栽培経験のない子どもでも比較的育てやすい。また、アサガオは、成長が早いいため変化が顕著で観察に適している、支柱を立てるなど成長に応じた世話を必要とする、開花時期には毎日のように大きな花を咲かせる等の特徴があり、生活科の栽培教材としても適している。アサガオを栽培する活動を継続的に行うことで、その変化や成長、世話の仕方、自分とのかかわりに気付くとともに、植物とのかかわりを深め、大切にしようとする心をはぐくむことができると考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

アサガオと繰り返しかかわる中で生まれた気付きを、「仲間との対話」を通して共有することで創り出される、アサガオにさらに働きかけていこうとする思いを本単元における新たな価値ととらえる。そのために、アサガオの変化や成長の様子に着目し、自分の以前のアサガオや友達のアサガオと比較するという「見方・考え方」を働かせた学習活動を単元を通して位置付ける。このような学習活動を通して、アサガオが生命をもっていることや成長していることに気付くことができるようにするとともに、子どもなりに適切な世話の方法を考えることができるようにする。また、長期的な栽培活動を通して、毎日世話を頑張ったことや上手に世話ができるようになったこと等から、自分自身の成長にも気付くことができるようにする。

第2時では、アサガオの種をじっくり観察する。小さい種からどのように育てほしいか願いを書く活動を設定し、自分のアサガオに愛着をもつことができるようにする。さらに、種がこの後どのように変化していくのか、どんな花が咲くのか、育て方はどのようにしたらよいのか話し合う場を設け、「継続的に観察することの楽しさに気付く」という単元のねらいと子どもの思いが合致するようにする。

第5時から第9時は、自分のアサガオに繰り返しかかわっていく活動となる。繰り返しかかわることで、変化や成長の様子に気付くことができるようにする。そこで、子どもの日常生活の中に「アサガオのけんこうかんさつ」の時間を設定し、アサガオと十分に触れ合うことができるようにする。気付いたことを朝の会で紹介し合い、アサガオの育ち具合について情報交換できるようにする。観察においては、アサガオの小さな変化に気付くことができるように、五感を働かせることや以前のアサガオや友達のアサガオと比較することなど観察の仕方や視点を具体的に示し、焦点を絞った観察もできるようにする。さらに、アサガオの世話をしながら感じる喜びや驚き、不安、疑問などを表出できる掲示コーナーを設け、友達が感じたことを共有することができるようにする。世話を続けていると、自分のアサガオについて心配なことや疑問点、問題点などが生じてくると考えられる。個の問題を全体の場で取り上げ、自分たちで解決方法を考えることで、アサガオにより主体的にかかわっていくことができるようにする。第9時では、開花の喜びを絵や文で表現する活動を通して、開花するまで大切に世話を続けてきた自分や友達の頑張りに気付くことができるようにする。

第10、11時は、アサガオの花を使った活動を楽しむ。アサガオの花を使った作品づくりを通して、アサガオへの愛着を深め、これからもアサガオを大切にしていこうとする心情を育てたい。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) アサガオの変化や成長を楽しみにしながら、親しみをもち、進んで世話をしようとしている。 〈キ-1〉
- (2) アサガオの変化や成長に合わせた世話の仕方を考えて適切にかかわり、成長の様子や育てる喜びなどをふり返し、それを素直に表現している。 〈b-3, 4, 8〉 〈カ-1・2, キ-2〉
- (3) アサガオも自分と同じように成長していくことや、世話を続けることの楽しさ、上手に世話ができるようになった自分に気付いている。 〈キ-5, コ-1〉

4 単元の構想（総時数11時間）

時間	学習活動	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
1	(1) 校地内に咲いている春の花を見付け、知っている花や植物について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 身近な植物に関心をもつことができるように、見付けた花を紹介したり、植物を育てた経験などについて話し合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 気付いたことや感じたことを友達や教師に進んで伝えようとしている。 (カ-2)
2	(2) アサガオは種から育つことを確かめ、種を観察する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分のアサガオに愛着をもち、栽培への期待を高めることができるように、小さい種からどのようにしてほしいか自分の願いを書く場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 種の様子を観察し、色や形、大きさなどを絵や文で表現している。 (キ-2)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題 </div>		元気に育てて、きれいなお花をさかせよう。	
3 4	(3) アサガオの種まきをする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分のアサガオを愛情と責任をもって育てることができるように、置き場所や必要な世話を考える場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 種の成長を願いながら、丁寧に植えている。 (キ-1・2)
5	(4) 発芽したアサガオの様子を観察し、世話の仕方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 世話をする楽しさや喜びを実感できるように、愛情をもってかわる姿や成長を喜ぶ言葉、小さな変化に関する気付きなどを取り上げ、称揚する。 	<ul style="list-style-type: none"> アサガオに生命があることや成長していること、適切な世話の仕方があることに気付いている。 (キ-5)
6	(5) 本葉が出てきたアサガオの様子を観察し、世話の仕方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 双葉との違いやアサガオの変化や成長に気付くことができるように、観察の視点を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 双葉との違いに着目して観察し、見付けたことや感じたこと絵や文で表現している。 (キ-5)
7 本時	(6) 成長してきたアサガオの様子を観察し、世話の仕方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> アサガオの成長や変化の様子に気付くことができるように、視点を明確にした観察と結果を比較する活動を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と話し合ったことをもとに、今後の世話の仕方について自分の考えをもっている。 (b-3・4)
8	(7) 蔓が伸びてきたアサガオに必要な世話について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 支柱を立てる必要性に気付くことができるように、蔓がからまったり地面をはってしまったりしている事例を取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> アサガオが成長していることや、成長に合わせた適切な世話の仕方に気付いている。 (b-3・4,キ-5)
9	(8) 開花したアサガオを観察し、開花した喜びを絵や文で表現し、家族に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの頑張りを他者から称揚してもらうことで、毎日世話を続けた自分のよさに気付くことができるように、家族に伝える活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 開花の喜びや花の美しさを絵や文で表現し、他者に伝えようとしている。 (カ-1・2)
10	(9) アサガオの花でどんなことができるか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 自分のアサガオへの愛着を深めることができるように、一人一人の思いを大切に、やってみたいことを取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 開花の喜びを伝えたり、花の美しさを残したりするための方法を考えている。 (キ-2)
11	(10) 自分の表現したい方法を選んで、アサガオを使った作品づくりを楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> 互いに作品を紹介し合うことを通して、これまでの栽培活動の頑張りを実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 花が咲くまで、大切に世話を続けてきた自分や友達の頑張りに気付いている。 (ユ-1)

5 本時の実際 (7/11)

(1) ねらい

自分の以前のアサガオや友達のアサガオと比較しながら観察し、気付いたことを交流することを通して、これからの世話の仕方について具体的な見通しをもつことができる。

(2) 展開

○：「仲間との対話」を通して新たな価値を創造するための手立て

時間	学習活動	教師の支援 評価
5分	① 本時の学習のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> これまでアサガオがどのように成長してきたのか振り返ることができるように成長の過程を写真で提示する。 世話の仕方について考える必要性を見出すことができるように、アサガオの世話をしていることや心配なこと、疑問を感じていることなどを情報交換する場を設ける。
<p>学習課題</p> <p>大きくなってきたアサガオのお世話作戦会議をしよう。</p>		
15分	② 自分のアサガオを観察する。 【自分との対話】 【仲間との対話】 (予想される子どもの反応) <ul style="list-style-type: none"> 葉っぱの数が増えたよ。 葉っぱが大きくなったよ。 背が高くなったよ。元気だな。 わたしのアサガオは○○さんより小さいな。心配だな。 葉っぱに穴が空いている。大丈夫かな。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のアサガオの成長や変化の様子に気付くことができるように、大きさや形、数の他、友達のアサガオや以前のアサガオと比較することを観察の視点として与える。 アサガオを観察し、子どもはアサガオの成長や変化に対して喜びや不安を感じると考えられる。自分のアサガオへの気持ちを明らかにして話し合うことができるように、喜びと不安の度合いを表した心情マークの上に、今の心境をネームプレートで表示するよう指示する。
17分	③ 観察して気付いたことを伝え合い、アサガオが元気に育つための世話の仕方について話し合う。 【仲間との対話】 (予想される子どもの反応) <ul style="list-style-type: none"> みんな前より大きくなってきたね。 下の葉っぱが枯れてきたよ。大丈夫かな。 葉っぱに穴が空いているのは、虫が食べたのだと思うよ。 虫を見付けたら、捕ってあげよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の気付きを受けて、自分のアサガオはどうなのか確かめながら話し合うことができるように、自分の横にアサガオを置くよう指示する。 ○ 自分のアサガオの生育状況について、嬉しいことや心配なことなど出し合いながら、アサガオへの思いや世話の方法を明らかにしていく。 継続した世話に加えて成長に合わせた世話も必要なことに気付くことができるように、アサガオが大きく成長してきた点と、成長に伴って生じてきた問題点を整理して板書し、これからどんな世話が必要か問う。
8分	④ 本時の学習をふり返り、これからどのように世話をしていきたいか自分の考えを書く。 【自分との対話】 (予想される子どもの反応) <ul style="list-style-type: none"> 葉っぱが食べられてしまわないように、虫を見付けたら捕るよ。 たくさん花が咲くように肥料をあげたいな。 もっと元気に育つようにもう少し光の当たるところに置こう。 	<ul style="list-style-type: none"> これからのアサガオへの栽培意欲を高めることができるように、本時の活動で気付いたことをもとに、今後の自分のアサガオの世話の仕方について考える場を設ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分の以前のアサガオや友達のアサガオと比較しながら観察し、生育状況や世話の仕方について話し合うことを通して、今後の世話の仕方について具体的な見通しをもっている。 〈b-3, 4〉〈キ-2〉(発言, 学習シート)</p> </div>

(3) 「仲間との対話」を通して新たな価値を創造する子どもの姿

